

# ZEPEAL

## ゼピール 電気かき氷器

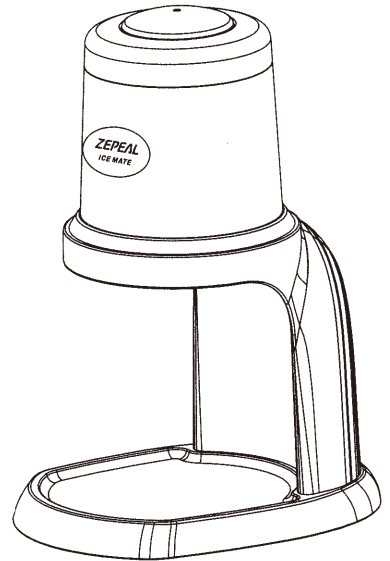
### DIC-15

### 取扱説明書(保証書付)

このたびは電気かき氷器をお買い上げいただき、誠に有難う御座いました。ご使用前に、この取扱説明書(保証書付)をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、大切に保存してください。

万一ご使用中に不明な点や不具合が生じたとき、きつとお役に立ちます。



#### も く じ

安全上のご注意	1~2
使用上の注意とお願い	3
氷の作り方	3
保護スイッチ機構について	3
各部の名称	4
容器の取付け・取はずし方	4
使いかた	5~6
お手入れ	6
保管のしかた	7
こんなときには	7
アフターサービス	8
仕様	8
保証書	9

● イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

● この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

# 安全上のご注意

※ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近辺に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

## 警告

- 修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わないで下さい。発火したり、異常動作してけがをする恐れがあります。



分解禁止



- 本体は、絶対に丸洗いしないでください。故障や感電の原因となります。



水濡れ禁止



- 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないで下さい。やけど・感電・けがをする恐れがあります。



禁止

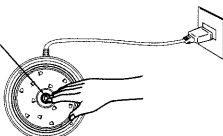


- 水押え部に触らないで下さい。けがをする恐れがあります。



接触禁止

水押え部



# ⚠ 注意

- カッターは鋭利ですので直接手を触れないで下さい。  
けがの原因となります。



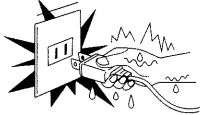
接触禁止



- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないで下さい。  
感電の恐れがあります。



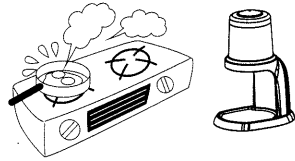
濡れ手  
禁止



- 次の場所で使わないで下さい。  
水のかかる所や湿気のある所。  
ストーブの近くや直射日光のあたる所。  
油のかかる所。



禁止



- 製品を落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。  
故障や感電の原因となります。



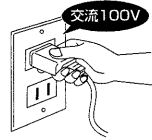
禁止



- 交流100V以外の電源では使用しないで下さい。  
感電や発火の恐れがあります。



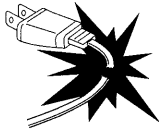
必ず守る



- 電源コードや電源プラグが破損しているときは使用しないで下さい。  
感電やショート、発火の恐れがあります。



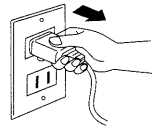
禁止



- 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに、必ず電源プラグを持って抜いて下さい。  
感電やショート、発火の恐れがあります。



必ず守る



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、また重いものを載せたり、挟み込んだりしないで下さい。  
電源コードが破損し、感電ややけど、発火による火災の恐れがあります。



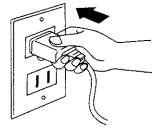
禁止



- 電源プラグは根元まで確実に差込んで下さい。  
差込みが不完全ですと、感電やショート、発火の恐れがあります。



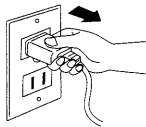
必ず守る



- 本体・容器のお手入れは電源プラグを抜いてから行って下さい。  
けがをしたり、感電の恐れがあります。



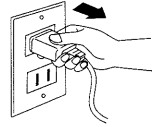
プラグを抜く



- 長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いて下さい。  
絶縁劣化による感電、漏電火災の恐れがあります。



必ず守る



## ⚠ 使用上の注意とお願い

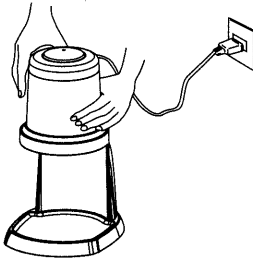
- ⊘ 連続使用は5分以内して下さい。  
モーター故障の原因となります。



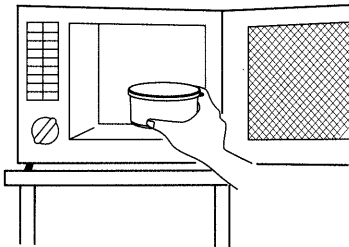
- ⊘ 氷以外のものは入れないで下さい。  
けがをしたり故障の原因となります。



- ⊘ 使用中に移動させないで下さい。  
けがの原因となります。

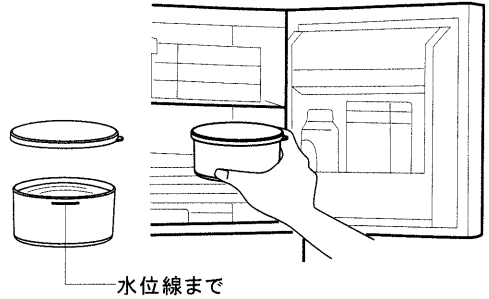


- ⊘ 製氷カップは電子レンジで使用しないで下さい。  
変形の原因となります。



## 氷の作りかた

製氷カップの水位線まで水を入れ、フタをして凍らせます。



### 注意

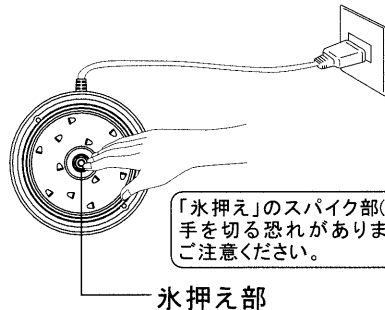
水をいっぱいにして凍らせると、氷が膨れて製氷カップが破損しますので水量にご注意下さい。  
又、フタが外れにくくなりますのでご注意ください。

## 保護スイッチ機構について

本体を容器からはずした状態や氷の量が多い場合は、スイッチが入らない保護スイッチ機構を設けてあります。

### お願い

無理に氷押え部を押したり、たたいたりしないで下さい。  
スイッチ破損の原因となります。

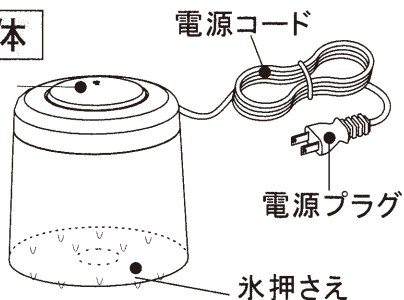


「氷押え」のスパイク部(凸部)は手を切る恐れがありますのでご注意ください。

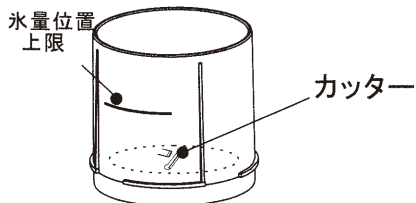
氷押え部

## 各部の名称

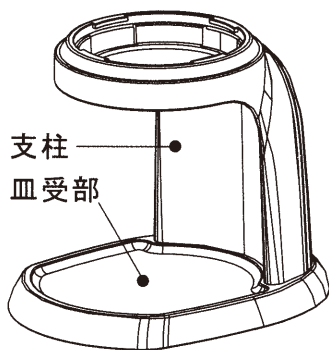
### 本体



### 容器



### スタンド



### 付属品

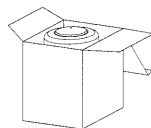


製氷カップ・・・2個  
(約180ml)

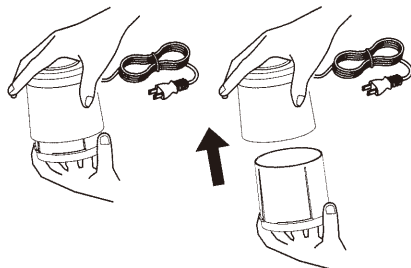
- イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

## 容器の取付け・取りはずしかた

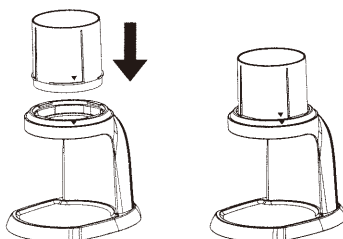
- ① 化粧箱の中の、ダンボールケースから本体と容器を取り出します。



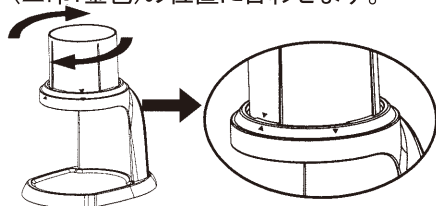
- ② 下から容器を支え、本体を矢印の方向に引き上げて本体と容器を分離させます。(下図のようになります。)



- ③ 容器側の三角印(▼印: 青色)とスタンド側の三角印(▼印: 青色)の位置を合わせて容器をスタンドの上に置きます。(下図のようになります。)



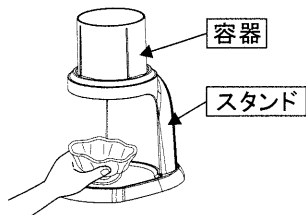
- ④ スタンドを軽く支えて、容器を矢印の方向(時計まわり)にまわし、容器側の三角印(▼印: 青色)をスタンド正面の三角印(▲印: 金色)の位置に合わせます。



容器を取り外す時は、取り付け時と逆の手順で取り外してください。その際、カッターに十分注意をしていただきますようお願いします。

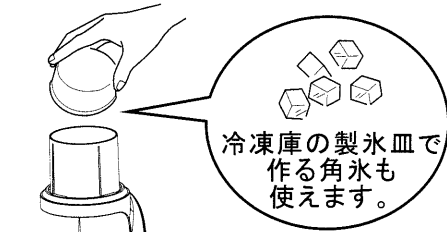
# 使いかた

## 1. スタンドに容器を取り付け、器を置きます。



※器は付属しておりません。

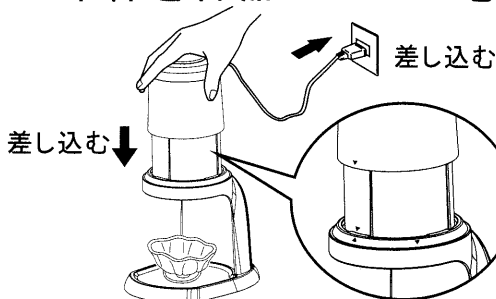
## 2. 氷を容器に入れます。



入れる氷の量は、容器の高さの約半分が目安です。

※付属の製氷カップから、氷を取り出す時は製氷カップに水にひたすと取り出しやすくなります。

## 3. 本体を容器にはめて電源プラグを差し込みます。



### ⚠ 注意

- 本体を容器に差し込む時は、左丸図イラストのように三角印(▼▲印:金色)の位置を合わせてください。
- 持ち運ぶ際はスタンドごと持ち上げて下さい。

## 4. ボタンを手の平で押さえ、氷を削ります。



### お願い

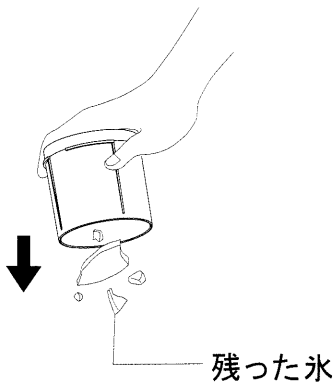
- 使用中に回転が停止した場合は、一旦電源プラグを抜き、本体を持ち上げて氷の状態を確認して再度ご使用ください。
- ボタンを押してもモーターが回転しない場合は、氷の量を減らしてお使い下さい。(保護スイッチ機構についての3ページ参照) 氷の状態により氷と氷押え部が空回りすることがあります。その時は、氷の上下を逆にして下さい。

ボタンを上から押すとモーターが回転し離すと止まります。

※ボタンの手前側に力が加わるように押すと上手く削れます。

角氷を使用した場合、付属品の製氷カップで作った氷より、本体のゆれが大きくなります。

## 5. 本体をはずし、容器内の氷を捨てます。

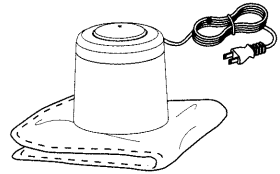


※構造上、氷は容器に残ります。

続けて氷を削るときや使用後は容器内に残った氷を必ず捨ててください。

### お願い

使用後は本体に付着した水が垂れることがありますので、ふきん等の上に置いて水切りをして下さい。

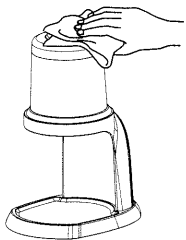


## 6. 使用後は…

電源プラグ部を持って、コンセントから抜いてください。

## お手入れ

※ コンセントから電源プラグが抜けていることを確かめ、お手入れをして下さい。



本体は乾いた布で拭いて下さい。



氷押え部・カッターは使用後必ず水気を拭取って下さい。

### △注意

お手入れのときは、以下の点にご注意下さい。

- カッターで指を切らないよう十分ご注意ください。
- カッター取付けネジは絶対にゆるめないで下さい。
- カッターの位置は調整済みです。
- 本体の取扱いの際は指などをはさまないようにして下さい。
- お手入れの際は、シンナー、ベンジン、アルコール、金属たわし、みがき粉等を使用しないで下さい。変形や変色等の原因となります。

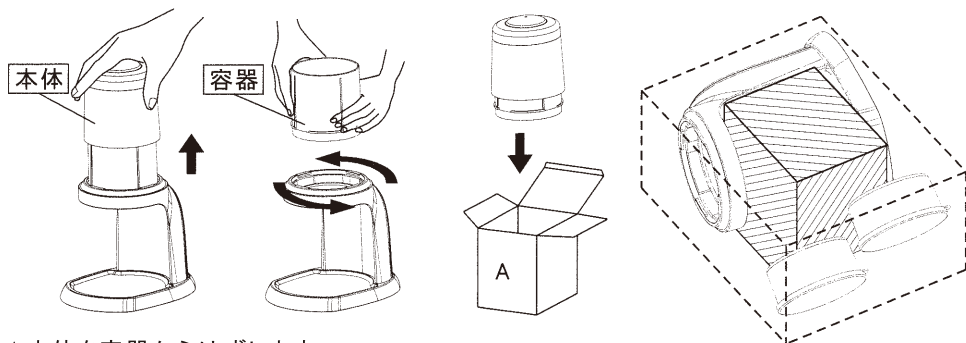
# 保管のしかた



**警告**

- 必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態でお手入れをしてください。

次のような方法により、製品の高さが低くなり、保管しやすくなります。



1. 本体を容器からはずします。
2. スタンドから容器をはずします。  
[容器側の▼印(青色)を、スタンド側の▼印(青色)まで逆時計回りにまわし、合わさったところで容器を上を持ち上げてはずしてください。]
3. 容器に本体をかぶせ、ダンボールの内箱に入れます
4. 外箱に入れる場合はダンボールの内箱とスタンドを図のように入れ製氷カップはすき間にお入れください。

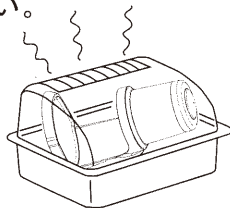
## ご注意

容器とスタンドは40°C以上のお湯で洗わないで下さい。



変形や変色の原因となります。

食器乾燥機等に入れて乾かさないうで下さい。



プラスチック部分の変形の原因となります。

# こんなときには

ご使用中に異常が生じた場合は、まず次の点をお調べて下さい。

こんなときは？	調べるところ	処 置
ボタンを押しても動かない。	容器と本体が正しく組み合わされていますか？	容器と本体を正しく組み合わせて下さい。
	氷の量が多過ぎませんか？	氷の量を正しく入れて下さい。
	電源プラグが正しく接続されていますか？	確実に接続して下さい。
氷が削れない。	容器内に削れずに残った氷がありませんか？	氷を取り除いて下さい
	氷が容器内に引っかかっていませんか？	氷を取り除いて下さい



# アフターサービス

- ① この製品は保証書がついております。お買い上げの際に販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受け下さい。
- ② 保証期間はお買上げ日より1年です。保証書の記載内容に基づいてお買上げ販売店に点検・修理をご依頼ください。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③ 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談下さい。(株)電響社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
- ④ この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ⑤ アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店か、本書に別記の(株)電響社修理サービスセンターへお問合せ下さい。

## 仕 様

電 源	AC100V
	50Hz/60Hz
消 費 電 力	50Hz 約11W/60Hz 約9W
回 転 数(約)	50Hz 約50rpm/60Hz 約60rpm
定 格 時 間	5分間(最大連続使用時間)
製 品 寸 法(約)	幅168mm×奥行220mm×高さ313mm
製 品 質 量(約)	1.15kg (付属品を除く)
電 源 コード(約)	1.8m
保 護 機 能	セーフティ構造
付 属 品	約180mlの製氷カップ…2個

**ZEPEAL**  **株式会社 電響社**

コールセンター      本社：〒556-0006 大阪市浪速区日本橋東2丁目1番3号  
TEL:0120-070-440      [受付時間] 9:00～17:00(土曜、日曜、祝日を除く)  
FAX:06-6644-4433

修理サービスセンター      TEL:075-681-2430      [受付時間] 9:00～17:00(土曜、日曜、祝日を除く)  
FAX:075-681-0886  
住所：〒601-8362 京都府京都市南区吉祥院長田町24(電響社サービスセンター)